

平成 14年 3月期 中間決算短信(連結)

平成 13年 11月 28日

上場会社名 フジ日本精糖株式会社  
(旧社名 日本精糖株式会社)

上場取引所 東

コード番号 2114

本社所在都道府県

問合せ先 責任者役職名 常務取締役

東京都

氏名 青木 実

TEL (03) 3667 - 7811

中間決算取締役会開催日 平成 13年 11月 28日

米国会計基準採用の有無 無

1. 13年 9月中間期の連結業績 (平成 13年 4月 1日 ~ 平成 13年 9月 30日)

(1)連結経営成績 (百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
13年 9月中間期	3,792	6.0	90	-	68	-
12年 9月中間期	4,034	-	90	-	140	-
13年 3月期	7,961		293		451	

	中間(当期)純利益		1株当たり中間 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当 たり中間(当期)純利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
13年 9月中間期	622	-	34.46	-
12年 9月中間期	11	-	0.65	-
13年 3月期	112		6.23	-

(注) 持分法投資損益 13年 9月中間期 3百万円 12年 9月中間期 1百万円 13年 3月期 0百万円  
期中平均株式数(連結) 13年 9月中間期 18,076,208株 12年 9月中間期 18,046,280株 13年 3月期 18,052,998株  
会計処理の方法の変更 有  
売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

(2)連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
13年 9月中間期	8,960	6,727	75.1	372.32
12年 9月中間期	8,636	6,937	80.3	384.49
13年 3月期	9,071	7,055	77.8	390.27

(注) 期末発行済株式数(連結) 13年 9月中間期 18,067,745株 12年 9月中間期 18,043,059株 13年 3月期 18,079,004株

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
13年 9月中間期	17	1	117	2,723
12年 9月中間期	216	2,422	557	610
13年 3月期	327	346	535	2,818

(4)連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 4社 持分法適用非連結子会社数 0社 持分法適用関連会社数 2社

(5)連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規)社(除外)社 持分法(新規)1社(除外)0社

2. 14年 3月期の連結業績予想 (平成 13年 4月 1日 ~ 平成 14年 3月 31日)

旧日本精糖(株)の上半期業績に事業統合後のフジ日本精糖(株)の下半期業績見通しを加算した通期予想数値であります。

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	11,000	200	500

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 21円 82銭

(注)1株当たり予想当期純利益は予想期中平均株式数 22,918,455株で算出しております。

## 1. 企業集団の状況

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社（日本精糖株式会社）、子会社5社及び関連会社3社によって構成されており、精糖事業のほか、畜産物事業、不動産事業及びクリーニング事業を主たる業務として行っております。

当社グループの事業内容及び各事業における当社及び関係会社の位置付けは以下のとおりであります。なお、次の4部門は「事業の種類別セグメント情報」の区分と同一であります。

### （1）精糖事業

当社は精製糖、糖蜜の製造販売を行っております。また、当中間会計期間から持分法適用の関連会社となりました太平洋製糖株式会社は当社ほか2社から委託を受け精製糖の加工を行っております。なお、糖蜜については子会社である協立食品株式会社が販売を行っております。

### （2）畜産物事業

子会社であるTibaldi Small Goods (Australasia) Pty., Ltd.（豪州ティバルディ社）が豪州において畜産物（ハム・ソーセージ）の製造販売を行っており、当社及び子会社日本ティバルディ株式会社が日本国内における輸入販売を行っております。

### （3）不動産事業

当社及び協立食品株式会社が所有する土地建物等を賃貸しております。

### （4）クリーニング事業

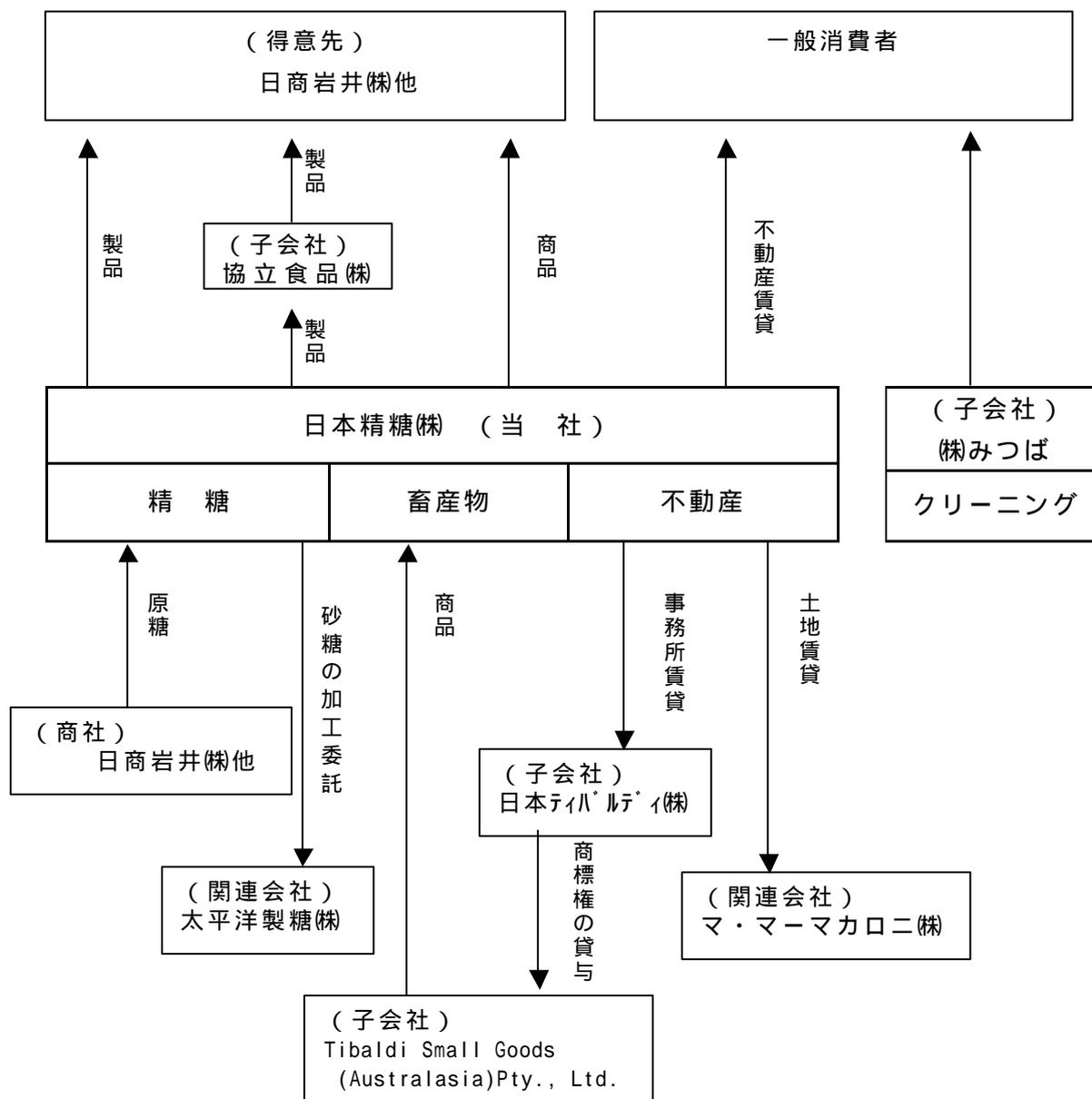
子会社である株式会社みつばが一般家庭向けクリーニング業を行っております。

なお同社は、平成13年10月1日開催の取締役会において会社清算を決議しております。

このほか、関連会社マ・マーマカロニ株式会社は、設立の経緯に伴い当社がその発行済株式総数の28.1%を所有し、持分法適用会社となっておりますが、現在は日清製粉株式会社の傘下であり、工場用地の賃貸以外に営業上の取引はありません。

なお、実質基準による子会社である有限会社エヌ・エス及び関連会社である美勝企業有限公司は、当社グループとの間に重要な取引がなく、連結の範囲にも含めていないため、以上の説明には含めておりません。

事業の系統図は次のとおりであります。



継続的で緊密な事業上の関係がある関連当事者であります。  
日本精糖(株)は平成 13 年 10 月 1 日付で、フジ製糖(株)と合併し、  
フジ日本精糖(株)に社名変更しております。

## 2. 経営方針

### (1) 経営の基本方針

当社は経営理念である『夢のあるたくましい会社』を目指し、その具体的な目標として「高い収益力」、「健全な財務体質」、「活性化された組織」、「透明性のあるスピード経営」、「食文化による社会貢献」をおこなう会社になるよう一步一步前進し、経営スローガンである「企業価値の増大」、「変革への絶え間ないチャレンジ」、「個を活かす企業文化の創造」の実現に向かって取り組んでおり、21世紀の企業として成長する所存であります。

### (2) 利益配分に関する基本方針

大きく変化する経営環境の中で収益力の向上、健全な財務体質の維持強化に努め、安定的配当を継続することを基本方針としております。

内部留保金は中長期的視野に立っての市場競争力の強化につながる設備投資、研究開発投資及び開発商品の育成に充当致します。

### (3) 中長期的な経営戦略及び対処すべき課題

砂糖業界の環境変化が推移するなか、子会社の事業の見直しを行い、経営資源の選択と集中を実施し、会社グループ全体の経営基盤を強化する方針であります。

当社はすでに皆様ご承知のとおり、平成13年10月1日をもってフジ製糖株式会社と合併し、同時に塩水港精糖株式会社、東洋精糖株式会社と共に太平洋製糖株式会社での共同生産に参画いたしました。新会社「フジ日本精糖株式会社」は平成14年4月から中期3ヵ年計画をスタートさせ、この合併と共同生産の効果を最大限に発揮し、生産の集中による製造コストの削減に加えて、物流の合理化、販売力の強化、開発商品の育成等を重要な課題として取り組む所存であります。

また、資産の有効活用によりキャッシュ・フローの増大を図り企業体質の強化に努め連結経営としての企業グループの業績を向上させることを課題としております。

## 3. 経営成績

### (1) 当中間期の概況

わが国経済が低迷する中、海外原糖市況が比較的堅調に推移したことで、国内市況は期初の東京現物相場の122円が期末まで維持されました

その中で当社は販売努力を行いました。景気低迷による砂糖需要の減少から販売競争の激化とそれに伴う販売単価の下落により数量・売上高とも前年を下回り、売上高3,057,882千円（前年同期比9.4%減）に止まりました。また、中間損益につきましては横浜工場閉鎖に伴う損失、子会社である協立食品株式会社に対する貸付金に対しての貸倒引当金の設定及び会計方針の変更による過年度分役員退職慰労引当金繰入額等の特別損失1,448,197千円を計上した結果、中間純損失が849,247千円（前年同期中間純利益5,175千円）となりました。

また、豪州ティバルディ社は、欧州における狂牛病に伴う原料肉の高騰に製品の値上げが追いつかず売上は伸びたものの中間純損失は21,140千円（前年同期比45.7%増）となりました。日本ティバルディ(株)はロイヤリティの引下げにより売上も利益も減少しましたが中間純利益1,032千円（前年同期中間純損失21,665千円）を計上、協立食品(株)は関係会社

の株式評価損や貸倒引当金の設定による特別損失 386,463 千円を計上した結果、中間純損失 375,333 千円（前年同期中間純利益 4,816 千円）となりました。

㈱みつばは売上は伸びましたが、販売競争の激化及び会社整理に伴う特別損失 87,938 千円を計上したことなどにより中間純損失 92,784 千円（前年同期比 703.4%増）を計上することになりました。

なお、関連会社については、マ・マーマカロニ㈱が消費の伸び悩み及び競争激化により減益となったことにより、持分法による投資損失 3,434 千円を計上することとなりました。

この結果、当中間期における連結売上高は 3,792,794 千円（前年同期比 6.0%減）連結経常損失は 68,331 千円（前年同期経常利益 140,404 千円）、連結中間純損失 622,935 千円（前年同期中間純利益 11,652 千円）となりました。

これを事業別に見ますと、当社及び協立食品㈱が担当する精糖部門は、主として当社の業績を反映しており、売上高は 3,069,318 千円（前年同期比 7.8%減）、営業損失は 104,475 千円（前年同期営業利益 67,370 千円）となりました。

畜産部門は、主として豪州ティバルディ社及び日本ティバルディ㈱の子会社 2 社が担当しており、売上高は 506,292 千円（前年同期比 3.3%増）となったものの、損益面においては原料の高騰に製品の値上げが追いつかず営業損失 15,626 千円（前年同期比 194.7%増）を計上するに至りました。

不動産部門は当社ビル賃貸をはじめ安定して推移し売上高は 96,832 千円、（前年同期比 0.4%増）、営業利益は 60,648 千円（前年同期比 4.4%減）となりました。

クリーニング部門の売上高は 120,350 千円（前年同期比 2.2%増）と景気低迷の中、販売努力により売上高は増加したものの、営業損失は 4,649 千円（前年同期比 53.2%減）となりました。

所在地別に見ますと、日本国内における売上高は 3,296,449 千円（前年同期比 9.2%減）、営業損失は 80,672 千円（前年同期営業利益 103,469 千円）、豪州における売上高は 496,344 千円（前年同期比 22.9%増）、営業損失は 10,167 千円（前年同期比 16.1%減）となっております。

海外売上高は 473,729 千円（前年同期比 17.3%増）となり、連結売上に占める割合は 12.5%（前年同期 10.0%）となりました。

## （2）通期の見通し

海外原糖市況はブラジルをはじめとする主要生産国の生産が順調に伸びていることから低調に推移するものと予想されます。

国内製品市況につきましては経済の不振から砂糖需要は低迷し、また、大手需要家による納入価格の入札制の導入等で販売競争は更に激化するものと思われま

す。この様な状況の中で、通期の業績見通しは、フジ製糖株式会社との合併で売上は増加し、連結売上高は 11,000 百万円を見込んでおります。損益面につきましては、連結経常利益は 200 百万円を見込んでおりますが、横浜工場閉鎖に伴う損失及び関係会社である㈱みつばの清算に伴う特別損失が影響し連結当期純損失 500 百万円を見込んでおります。

## 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当中間連結会計期間末 (平成13年9月30日現在)		前中間連結会計期間末 (平成12年9月30日現在)		前連結会計年度 (平成13年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%
流動資産	5,185,377	57.9	4,827,016	55.9	5,222,955	57.6
現金及び預金	2,989,025		3,206,373		3,267,280	
受取手形及び売掛金	428,127		433,164		488,833	
有価証券	95,301		88,237		88,316	
たな卸資産	1,004,261		886,046		1,248,410	
その他	692,918		215,801		137,362	
貸倒引当金	24,256		2,606		7,247	
固定資産	3,775,021	42.1	3,809,022	44.1	3,848,908	42.4
有形固定資産 注(1)	787,256	8.8	1,459,563	16.9	1,448,012	15.9
建物及び構築物	341,881		628,158		609,949	
機械装置及び運搬具	149,767		589,010		580,345	
その他	295,607		242,394		257,717	
無形固定資産	23,076	0.2	12,104	0.1	26,390	0.3
投資その他の資産	2,964,688	33.1	2,337,354	27.1	2,374,506	26.2
投資有価証券	2,741,355		2,054,487		2,100,282	
その他	305,437		316,565		333,056	
貸倒引当金	82,104		33,698		58,833	
資産合計	8,960,399	100.0	8,636,038	100.0	9,071,864	100.0

(単位：千円)

科 目	当中間連結会計期間末 (平成13年9月30日現在)		前中間連結会計期間末 (平成12年9月30日現在)		前連結会計年度 (平成13年3月31日現在)	
	金 額	構成比 %	金 額	構成比 %	金 額	構成比 %
(負債の部)						
流動負債	1,915,934	21.4	1,546,582	17.9	1,848,382	20.4
支払手形及び買掛金	559,999		412,218		681,450	
短期借入金	520,248		519,493		531,312	
賞与引当金	22,229					
その他	813,457		614,870		635,619	
固定負債	317,396	3.5	151,995	1.8	167,882	1.8
退職給付引当金	117,148		32,011		55,224	
役員退職慰労引当金	76,540					
その他	123,708		119,983		112,658	
負債合計	2,233,331	24.9	1,698,577	19.7	2,016,264	22.2
少数株主持分						
(資本の部)						
資本金	999,460	11.2	999,460	11.6	999,460	11.0
資本準備金	1,166,732	13.0	1,166,732	13.5	1,166,732	12.9
連結剰余金	4,638,141	51.7	5,217,455	60.4	5,318,293	58.6
その他有価証券評価差額金	367,910	4.1				
為替換算調整勘定	162,134	1.8	158,216	1.8	149,460	1.6
自己株式	7,990	0.1	9,924	0.1	6,920	0.1
子会社の所有する親会社株式	275,052	3.0	278,045	3.3	272,505	3.0
資本合計	6,727,067	75.1	6,937,461	80.3	7,055,599	77.8
負債、少数株主持分及び資本合計	8,960,399	100.0	8,636,038	100.0	9,071,864	100.0

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当中間連結会計期間 (自平成13年4月1日 至平成13年9月30日)		前中間連結会計期間 (自平成12年4月1日 至平成12年9月30日)		前連結会計年度 (自平成12年4月1日 至平成13年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
		%		%		%
売 上 高	3,792,794	100.0	4,034,177	100.0	7,961,954	100.0
売 上 原 価	3,172,235	83.6	3,238,221	80.3	6,273,657	78.8
売 上 総 利 益	620,558	16.4	795,955	19.7	1,688,296	21.2
販売費及び一般管理費 注(1)	710,737	18.8	705,547	17.5	1,394,303	17.5
営業利益又は営業損失( )	90,178	2.4	90,408	2.2	293,992	3.7
営業外収益	33,413	0.9	99,985	2.5	180,791	2.3
受取利息及び配当金	25,852		31,523		57,910	
そ の 他	7,561		68,461		122,881	
営業外費用	11,566	0.3	49,989	1.2	23,218	0.3
支払利息	4,080		7,726		13,980	
為替差損	3,629		33,664			
出資金償還損			7,509		7,509	
持分法による投資損失	3,434				989	
そ の 他	421		1,089		739	
経常利益又は経常損失( )	68,331	1.8	140,404	3.5	451,565	5.7
特別利益	36	0.0	1,179	0.0	6,794	0.1
固定資産売却益 注(2)	36		562		729	
投資有価証券売却益					6,065	
貸倒引当金戻入額			551			
そ の 他			65			
特別損失	913,549	24.1	159,440	3.9	237,213	3.0
固定資産除却損 注(3)	2,410		3,137		5,428	
投資有価証券評価損	11,596				894	
投資有価証券売却損	21,719					
関係会社整理損 注(4)	87,938					
ゴルフ会員権評価損			38,700		19,000	
役員退職慰労金			89,060		99,910	
過年度役員退職慰労引当金繰入額	70,500					
過年度退職給付費用	28,339		28,339		56,679	
貸倒引当金繰入額	45,082				55,300	
工場閉鎖損失 注(5)	645,961					
そ の 他			203			
税金等調整前当期純利益 又は税金等調整前中間純損失( )	981,843	25.9	17,855	0.4	221,147	2.8
法人税、住民税及び事業税	2,030	0.0	26,054	0.7	196,596	2.5
法人税等調整額	360,938	9.5	44,689	1.1	77,065	1.0
少数株主損失			10,873	0.3	10,873	0.1
中間(当期)純利益又は中間純損失( )	622,935	16.4	11,652	0.3	112,490	1.4

## 中間連結剰余金計算書

(単位：千円)

科 目	当中間連結会計期間 (自平成13年4月1日 至平成13年9月30日)	前中間連結会計期間 (自平成12年4月1日 至平成12年9月30日)	前連結会計年度 (自平成12年4月1日 至平成13年3月31日)
連結剰余金期首残高	5,318,293	5,341,872	5,341,872
連結剰余金増加高	59,257		
資産再評価に伴う剰余金増加高	59,257		
連結剰余金減少高	116,474	136,070	136,070
配 当 金	108,474	126,390	126,390
取 締 役 賞 与 金	8,000	9,680	9,680
中間(当期)純利益又は中間純損失( )	622,935	11,652	112,490
連結剰余中間期末(期末)残高	4,638,141	5,217,455	5,318,293

(注) 資産再評価に伴う剰余金増加高は、豪州の会計制度に基づく豪州子会社の資産再評価によるものであります。

**中間連結キャッシュ・フロー計算書**

(単位：千円)

科 目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	前連結会計年度
	自平成13年4月1日 至平成13年9月30日	自平成12年4月1日 至平成12年9月30日	自平成12年4月1日 至平成13年3月31日
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前中間(当期)純利益又は純損失( )	981,843	17,855	221,147
減価償却費	79,029	89,551	171,421
連結調整勘定償却額	11,400	49,950	49,550
賞与引当金の増加額	22,229		
貸倒引当金の増減額	40,405	30,148	59,859
退職給付引当金の増加額	25,009	32,011	55,224
役員退職慰労引当金の増加額	76,540		
受取利息及び受取配当金	25,852	31,523	57,910
支払利息	4,080	7,726	13,980
為替差損益	11,163	26,357	63,950
持分法による投資損益	3,434	1,905	989
投資有価証券売却損益	21,719	628	6,065
投資有価証券評価損	11,596		894
有形固定資産除却損	2,410	3,137	5,428
関係会社整理損	87,938		
工場閉鎖損	645,961		
出資金償還		7,509	7,509
役員退職慰労金		89,060	99,910
ゴルフ会員権評価損		8,000	19,000
売上債権の増減額	54,673	39,704	11,760
たな卸資産の増減額	210,631	155,483	513,386
その他流動資産の増減額	47,164	34,926	43,543
仕入債務の増減額	118,483	180,991	448,172
その他流動負債の増加額	27,113	41,087	21,530
その他固定負債の増減額	1,489	14,438	8,891
役員賞与の支払額	8,000	9,680	9,680
その他	10,974	6,993	3,981
小計	141,529	315,740	461,217
利息及び配当金の受取額	33,838	26,019	66,151
利息の支払額	3,986	6,683	12,405
役員退職慰労金の支払額		80,060	90,910
工場閉鎖に伴う支出額	20,763		
法人税等の支払額	133,187	38,329	96,627
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,431	216,687	327,426
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の払戻し・預入れによる収入・支出(純額)	161,600	2,195,000	8,000
投資有価証券の売却・償還による収入	29,981	960	12,989
投資有価証券の取得による支出	29,981		55,604
連結子会社株式の追加取得による支出	11,400	193,873	194,273
持分法適用会社株式の取得による支出	60,000		
有形固定資産の取得による支出	87,119	72,006	141,307
有形固定資産の売却による収入	821	803	1,284
無形固定資産の取得による支出	3,680	1,938	14,720
その他	1,534	38,411	36,828
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,755	2,422,642	346,804
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金純増減額	5,357	428,118	417,833
自己株式の取得・売却に係る支出・収入(純額)	3,829	1,210	9,706
親会社による配当金の支払額	108,474	126,390	126,390
少数株主への配当金の支払額		1,314	1,314
財務活動によるキャッシュ・フロー	117,660	557,033	535,831
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,654	588	33
現金及び現金同等物の減少額	95,819	2,763,577	555,242
現金及び現金同等物の期首残高	2,818,946	3,374,188	3,374,188
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	2,723,126	610,611	2,818,946

## 中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

### 1. 連結の範囲に関する事項

#### (イ) 連結子会社 4社

日本ティバルディ(株)

Tibaldi Small Goods (Australasia) Pty.,Ltd.

協立食品(株)

(株)みつば

#### (ロ) 主要な非連結子会社名

(有)エヌ・エス

非連結子会社(有)エヌ・エスは、小規模会社であり、総資産、売上高、中間純損益及び剰余金(持分に見合う額)は、いずれも中間連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないため連結の範囲から除いております。

### 2. 持分法の適用に関する事項

#### (イ) 持分法適用関連会社 2社

太平洋製糖(株)

マ・マーマカロニ(株)

なお、太平洋製糖(株)については、新たに株式を取得したことから、当中間連結会計期間より持分法を適用しております。

また、持分法を適用していない非連結子会社(有)エヌ・エス及び関連会社美勝企業有限公司は、それぞれ中間連結純損益及び連結剰余金中間期末残高に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため、持分法を適用しておりません。

#### (ロ) 持分法適用会社の中間決算日等に関する事項

親会社と同一であります。

### 3. 連結子会社の中間決算日等に関する事項

連結子会社のうち、(株)みつばの中間決算日は12月31日であります。中間連結財務諸表の作成にあたっては、6月30日現在で実施した決算に基づく財務諸表の下半期の数値を使用しており、中間連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

### 4. 会計処理基準に関する事項

#### (1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

##### (イ) 有価証券

その他有価証券

時価のあるもの.....中間決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)によっております。

時価のないもの.....移動平均法による原価法によっております。

##### (ロ) たな卸資産

主として先入先出法による原価法によっております。

##### (ハ) デリバティブ

時価法によっております。

#### (2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

##### (イ) 有形固定資産

国内会社

平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については定額法、その他の有形固定資産については定率法によっております。

## 国外会社

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は、以下のとおりであります。

建物及び構築物	3～50年
機械装置及び運搬具	2～17年

### (D) 無形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は、自社利用のソフトウェア5年であります。

## (3) 重要な引当金の計上基準

### (イ) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

### (ロ) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、賞与支給見込額の当中間連結会計期間負担額を計上しております。

#### (追加情報)

従来、従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、賞与支給見込額の中間連結会計期間負担額を「未払費用」(前中間連結会計期間 38,764 千円)に含めて表示しておりましたが、「リサーチ・センター審理情報 No.15」(平成 13 年 2 月 14 日 日本公認会計士協会)により、当中間連結会計期間より「賞与引当金」として表示しております。

### (ハ) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当中間連結会計期間末における退職給付債務及び年金資産の額に基づき、当中間連結会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。なお、会計基準変更時差異(283,399 千円)については5年による按分額を費用処理しております。

### (ニ) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく当中間連会計期間末要支給額を計上しております。

#### (会計方針の変更)

従来、役員の退職慰労金は、支出時の費用として処理しておりましたが、フジ製糖株式会社との合併による役員数の増加に伴い負担額の重要性が増すこと及び役員退職慰労引当金の計上が会計慣行として定着しつつあることを踏まえ、財務体質の健全化と期間損益の適正化を図るため、当中間連結会計期間より内規に基づく期末要支給額を引当計上する方法に変更しました。

この変更により、当期繰入額 6,040 千円は販売費及び一般管理費に計上し、過年度相当額 70,500 千円を特別損失に計上しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べ経常損失は 6,040 千円、税金等調整前中間純損失は 76,540 千円それぞれ多く計上されております。

## (4) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、中間決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社等の資産及び負債は、中間決算日の直物為替相場により、収益及び費用は期中平均相場によりそれぞれ円貨に換算し、換算差額は資本の部における為替換算調整勘定に含めております。

## (5) 重要なリース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

なお、在外連結子会社においては、ファイナンス・リース取引について通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

## (6) ヘッジ会計の方法

### (イ)ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理によっております。なお、為替予約等が付されている外貨建金銭債権債務について振当処理によっております。

### (ロ)ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段	為替予約取引及び通貨オプション取引
ヘッジ対象	外貨建金銭債権債務及び外貨建予定取引

### (ハ)ヘッジ方針

主として原料糖の輸入取引に係る為替変動リスクを回避するために、外貨建金銭債権債務及び外貨建予定取引の残高の範囲内でヘッジ取引を行っております。

なお、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

### (ニ)ヘッジ有効性評価の方法

ヘッジ有効性の判定は、原則としてヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間において、ヘッジ対象の相場変動又はキャッシュ・フロー変動の累計とヘッジ手段の相場変動又はキャッシュ・フロー変動の累計とを比較し、両者の変動額等を基礎として判断しております。

## (7) その他の中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

### 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

なお、仮払消費税等及び仮受消費税等はそれぞれ流動資産の「その他」及び流動負債の「その他」に含めて表示しております。

## 5. 中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、要求払預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

## 追 加 情 報

### 金融商品会計

当中間連結会計期間からその他有価証券のうち時価のあるものの時価の方法について、金融商品に係る会計基準（「金融商品に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成11年1月22日））を適用しております。これに伴い、その他有価証券評価差額金 367,910千円が計上されております。

## 注 記 事 項

### 1. 貸借対照表関係

当中間連結会計期間 〔自 平成13年4月1日〕 〔至 平成13年9月30日〕	前中間連結会計期間 〔自 平成12年4月1日〕 〔至 平成12年9月30日〕	前連結会計年度 〔自 平成12年4月1日〕 〔至 平成13年3月31日〕
(1) 有形固定資産の減価償却累計額 804,921千円	(1) 有形固定資産の減価償却累計額 3,715,610千円	(1) 有形固定資産の減価償却累計額 3,793,740千円
(2) 保証債務 3,524,750千円 関連会社である太平洋製糖(株)の 金融機関からの借入に対し、債務 保証を行っております。		

### 2. 損益計算書関係

当中間連結会計期間 〔自 平成13年4月1日〕 〔至 平成13年9月30日〕	前中間連結会計期間 〔自 平成12年4月1日〕 〔至 平成12年9月30日〕	前連結会計年度期間 〔自 平成12年4月1日〕 〔至 平成13年3月31日〕
(1) 販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は、次のとおりであります。 販売奨励金 119,318千円 販売手数料 89,533千円 運賃 129,079千円 役員報酬 65,557千円 給料手当 119,482千円 減価償却費 14,941千円 賞与引当金繰入額 5,143千円 役員退職慰労引当金繰入額 6,040千円 退職給付引当金繰入額 4,676千円 公租公課 9,007千円 連結調整勘定償却額 11,400千円	(1) 販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は、次のとおりであります。 販売奨励金 119,339千円 販売手数料 84,303千円 運賃 135,610千円 役員報酬 80,892千円 給料手当 110,341千円 減価償却費 25,830千円 退職給付引当金繰入額 5,114千円 公租公課 10,582千円	(1) 販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は、次のとおりであります。 販売奨励金 246,619千円 販売手数料 168,701千円 運賃 269,046千円 役員報酬 151,791千円 給料手当 221,246千円 減価償却費 39,525千円 退職給付引当金繰入額 9,631千円 公租公課 18,726千円
(2) 固定資産売却益の主なものは、機械装置及び運搬具の売却によるものであります。	(2) 同 左	(2) 同 左
(3) 固定資産除却損の主なものは、機械装置及び運搬具の除却によるものであります。	(3) 同 左	(3) 同 左
(4) 関係会社整理損の主なものは次のとおりであります。 有形固定資産除却損 20,289千円 リース解約損 14,000千円 原状回復費 30,000千円		
(5) 工場閉鎖損失の主なものは次のとおりであります。 有形固定資産除却損 666,775千円 撤去費用 150,740千円 合理化助成金 261,189千円		

### 3. 連結キャッシュ・フロー計算関係

当中間連結会計期間 〔自 平成13年4月1日〕 〔至 平成13年9月30日〕	前中間連結会計期間 〔自 平成12年4月1日〕 〔至 平成12年9月30日〕	前連結会計年度 〔自 平成12年4月1日〕 〔至 平成13年3月31日〕
現金及び現金同等物の中間連結会計期間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係  (平成13年9月30日現在)	現金及び現金同等物の中間連結会計期間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係  (平成12年9月30日現在)	現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係  (平成13年3月31日現在)
現金及び預金勘定 2,989,025 千円	現金及び預金勘定 3,206,373 千円	現金及び預金勘定 3,267,280 千円
有価証券勘定 <u>95,301 千円</u>	有価証券勘定 <u>88,237 千円</u>	有価証券勘定 <u>88,316 千円</u>
計 3,084,326 千円	計 3,294,611 千円	計 3,355,596 千円
預入期間が3ヵ月 を超える定期預金 <u>361,200 千円</u>	預入期間が3ヵ月 を超える定期預金 <u>2,684,000 千円</u>	預入期間が3ヵ月 を超える定期預金 <u>536,650 千円</u>
現金及び現金同等物 <u><u>2,723,126 千円</u></u>	現金及び現金同等物 <u><u>610,611 千円</u></u>	現金及び現金同等物 <u><u>2,818,946 千円</u></u>

リース取引関係

当中間連結会計期間 〔自 平成13年4月1日〕 〔至 平成13年9月30日〕	前中間連結会計期間 〔自 平成12年4月1日〕 〔至 平成12年9月30日〕	前連結会計年度 〔自 平成12年4月1日〕 〔至 平成13年3月31日〕																		
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引	リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引	リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引																		
1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末残高相当額	1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末残高相当額	1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額																		
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="text-align: center;">機 械 装 置 及 び 運 搬 具</td> <td style="text-align: center;">合 計</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">千円</td> <td style="text-align: center;">千円</td> </tr> </table>		機 械 装 置 及 び 運 搬 具	合 計		千円	千円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="text-align: center;">機 械 装 置 及 び 運 搬 具</td> <td style="text-align: center;">合 計</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">千円</td> <td style="text-align: center;">千円</td> </tr> </table>		機 械 装 置 及 び 運 搬 具	合 計		千円	千円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="text-align: center;">機 械 装 置 及 び 運 搬 具</td> <td style="text-align: center;">合 計</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">千円</td> <td style="text-align: center;">千円</td> </tr> </table>		機 械 装 置 及 び 運 搬 具	合 計		千円	千円
	機 械 装 置 及 び 運 搬 具	合 計																		
	千円	千円																		
	機 械 装 置 及 び 運 搬 具	合 計																		
	千円	千円																		
	機 械 装 置 及 び 運 搬 具	合 計																		
	千円	千円																		
取得価額相当額 11,282 11,282	取得価額相当額 11,282 11,282	取得価額相当額 11,282 11,282																		
減価償却累計額 9,025 9,025	減価償却累計額 6,769 6,769	減価償却累計額 7,897 7,897																		
中間期末残高相当額 2,256 2,256	中間期末残高相当額 4,512 4,512	期末残高相当額 3,385 3,385																		
2. 未経過リース料中間期末残高相当額	2. 未経過リース料中間期末残高相当額	2. 未経過リース料期末残高相当額																		
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1年以内</td> <td style="text-align: right;">2,548千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td style="text-align: right;">千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">2,548千円</td> </tr> </table>	1年以内	2,548千円	1年超	千円	合計	2,548千円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1年以内</td> <td style="text-align: right;">2,393千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td style="text-align: right;">2,548千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">4,941千円</td> </tr> </table>	1年以内	2,393千円	1年超	2,548千円	合計	4,941千円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1年以内</td> <td style="text-align: right;">2,469千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td style="text-align: right;">1,294千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">3,764千円</td> </tr> </table>	1年以内	2,469千円	1年超	1,294千円	合計	3,764千円
1年以内	2,548千円																			
1年超	千円																			
合計	2,548千円																			
1年以内	2,393千円																			
1年超	2,548千円																			
合計	4,941千円																			
1年以内	2,469千円																			
1年超	1,294千円																			
合計	3,764千円																			
3. 支払リース料等	3. 支払リース料等	3. 支払リース料等																		
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">支払リース料</td> <td style="text-align: right;">1,318千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td style="text-align: right;">1,128千円</td> </tr> <tr> <td>支払利息相当額</td> <td style="text-align: right;">102千円</td> </tr> </table>	支払リース料	1,318千円	減価償却費相当額	1,128千円	支払利息相当額	102千円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">支払リース料</td> <td style="text-align: right;">1,318千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td style="text-align: right;">1,128千円</td> </tr> <tr> <td>支払利息相当額</td> <td style="text-align: right;">176千円</td> </tr> </table>	支払リース料	1,318千円	減価償却費相当額	1,128千円	支払利息相当額	176千円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">支払リース料</td> <td style="text-align: right;">2,636千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td style="text-align: right;">2,256千円</td> </tr> <tr> <td>支払利息相当額</td> <td style="text-align: right;">317千円</td> </tr> </table>	支払リース料	2,636千円	減価償却費相当額	2,256千円	支払利息相当額	317千円
支払リース料	1,318千円																			
減価償却費相当額	1,128千円																			
支払利息相当額	102千円																			
支払リース料	1,318千円																			
減価償却費相当額	1,128千円																			
支払利息相当額	176千円																			
支払リース料	2,636千円																			
減価償却費相当額	2,256千円																			
支払利息相当額	317千円																			
4. 減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。	4. 減価償却費相当額の算定方法 同 左	4. 減価償却費相当額の算定方法 同 左																		
5. 利息相当額の算定方法 リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。	5. 利息相当額の算定方法 同 左	5. 利息相当額の算定方法 同 左																		

## 有価証券関係

### 1. 時価のある有価証券

(単位：千円)

区 分	当中間連結会計期間(平成13年9月30日現在)		
	取 得 価 額	中間連結貸借対照表計上額	差 額
その他有価証券			
株式	974,609	1,599,341	624,731
債券			
国債・地方債等			
社債			
その他			
その他	45,807	40,944	4,863
計	1,020,417	1,640,285	619,868

### 2. 時価評価されていない有価証券

区 分	当中間連結会計期間 (平成13年9月30日現在)
	中間連結貸借対照表計上額
その他有価証券 非上場株式(店頭売買株式を除く)	10,385

前中間連結会計期間及び前連結会計年度においては、その他有価証券のうち時価のあるものについて時価評価を行っておりません。

なお、平成12年大蔵省令第11号附則第3項及び平成12年大蔵省令第9号附則第3項によるその他有価証券に係る(中間)連結貸借対照表計上額等は以下のとおりであります。

#### 前中間連結会計期間末(平成12年9月30日現在)

中間連結貸借対照表計上額	995,579千円
時価	1,813,936
評価差額金相当額	473,829
繰延税金負債相当額	344,528

#### 前連結会計年度末(平成13年3月31日現在)

連結貸借対照表計上額	1,051,183千円
時価	1,749,339
評価差額金相当額	404,232
繰延税金負債相当額	293,923

## デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益

### 当連結中間会計期間(平成13年9月30日現在)

デリバティブ取引については、全てヘッジ会計が適用されているため、記載を省略しております。

### 前連結中間会計期間(平成13年9月30日現在)

デリバティブ取引については、全てヘッジ会計が適用されているため、記載を省略しております。

### 前連結会計年度(平成13年3月31日現在)

デリバティブ取引については、全てヘッジ会計が適用されているため、記載を省略しております。

## セグメント情報

### 1. 事業の種類別セグメント情報

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 〔自 平成13年4月1日 至 平成13年9月30日〕						
	精 糖	畜 産 物	不 動 産	クリーニング*	計	消去又は全社	連 結
売上高及び営業損益 売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	3,069,318	506,292	96,832	120,350	3,792,794		3,792,794
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高			1,053	574	1,627	( 1,627)	
計	3,069,318	506,292	97,885	120,924	3,794,421	( 1,627)	3,792,794
営 業 費 用	3,173,793	521,919	37,236	125,574	3,858,524	24,448	3,882,973
営業利益又は営業損失( )	104,475	15,626	60,648	4,649	64,102	( 26,075)	90,178

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 〔自 平成12年4月1日 至 平成12年9月30日〕						
	精 糖	畜 産 物	不 動 産	クリーニング*	計	消去又は全社	連 結
売上高及び営業損益 売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	3,330,019	489,923	96,489	117,745	4,034,177		4,034,177
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高			1,053	566	1,619	( 1,619)	
計	3,330,019	489,923	97,542	118,311	4,035,796	( 1,619)	4,034,177
営 業 費 用	3,262,648	495,225	34,083	128,247	3,920,205	23,563	3,943,768
営業利益又は営業損失( )	67,370	5,302	63,459	9,935	115,591	( 25,182)	90,408

(単位：千円)

	前連結会計年度 〔自 平成12年4月1日 至 平成13年3月31日〕						
	精 糖	畜 産 物	不 動 産	クリーニング*	計	消去又は全社	連 結
売上高及び営業損益 売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	6,571,737	988,424	192,167	209,625	7,961,954		7,961,954
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	231		2,016	859	3,106	( 3,106)	
計	6,571,968	988,424	194,183	210,485	7,965,061	( 3,106)	7,961,954
営 業 費 用	6,342,766	981,297	50,811	246,733	7,621,609	46,352	7,667,961
営業利益又は営業損失( )	229,201	7,127	143,371	36,248	343,452	( 49,459)	293,992

(注) 1.事業区分の方法は、内部管理上採用している売上集計区分によっております。

2.各事業の主要な製品または業務

- (1) 精 糖 ..... 精製糖、糖蜜
- (2) 畜 産 物 ..... ハム・ソーセージ
- (3) 不 動 産 ..... 不動産賃貸
- (4) クリーニング ..... クリーニング

3.営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は、親会社本社の管理部門に係る費用及び研究開発費用であります。

当中間連結会計期間 26,647千円、前中間連結会計期間 25,754千円、前連結会計年度 50,692千円

4.中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項4.(3)(二)の「会計方針の変更」に記載のとおり、従来支出時の費用としていた役員退職慰労金を当中間連結会計期間から内規に基づく期末要支給額を引当計上する方法に変更いたしました。この変更により、従来の方法によった場合に比べ、「精糖」の営業費用は6,040千円増加し、営業損失は同額多く計上されております。

## 2. 所在地別セグメント情報

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 〔自平成13年4月1日 至平成13年9月30日〕				
	日 本	豪 州	計	消去又は全社	連 結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,296,449	496,344	3,792,794		3,792,794
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,320		2,320	( 2,320)	
計	3,298,770	496,344	3,795,114	( 2,320)	3,792,794
営業費用	3,379,442	506,512	3,885,954	( 2,981)	3,882,973
営業利益又は営業損失( )	80,672	10,167	90,840	661	90,178

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 〔自平成12年4月1日 至平成12年9月30日〕				
	日 本	豪 州	計	消去又は全社	連 結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,630,478	403,699	4,034,177		4,034,177
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,913	20,799	39,712	( 39,712)	
計	3,649,391	424,498	4,073,889	( 39,712)	4,034,177
営業費用	3,545,922	436,611	3,982,533	( 38,764)	3,943,768
営業利益又は営業損失( )	103,469	12,112	91,356	( 947)	90,408

(単位：千円)

	前連結会計年度 〔自平成12年4月1日 至平成13年3月31日〕				
	日 本	豪 州	計	消去又は全社	連 結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,099,849	862,105	7,961,954		7,961,954
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,020	26,505	47,526	( 47,526)	
計	7,120,870	888,610	8,009,480	( 47,526)	7,961,954
営業費用	6,822,538	894,252	7,716,791	( 48,829)	7,667,961
営業利益又は営業損失( )	298,331	5,641	292,689	1,302	293,992

(注) 1. 中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 4.(3)(二)の「会計方針の変更」に記載のとおり、従来支出時の費用としていた役員退職慰労金を当中間連結会計期間から内規に基づく期末要支給額を引当計上する方法に変更いたしました。この変更により、従来の方法によった場合に比べ、「日本」の営業費用は6,040千円増加し、営業損失は同額多く計上されております。

### 3. 海外売上高

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 〔自 平成13年4月1日〕 〔至 平成13年9月30日〕		
	豪 州	その他の地域	計
海外売上高	427,462	46,267	473,729
連結売上高			3,792,794
連結売上高に占める海外売上高の割合	11.3%	1.2%	12.5%

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 〔自 平成12年4月1日〕 〔至 平成12年9月30日〕	
	豪 州	計
海外売上高	403,699	403,699
連結売上高		4,034,177
連結売上高に占める海外売上高の割合	10.0%	10.0%

(単位：千円)

	前連結会計年度 〔自 平成12年4月1日〕 〔至 平成13年3月31日〕	
	豪 州	計
海外売上高	862,105	862,105
連結売上高		7,961,954
連結売上高に占める海外売上高の割合	10.8%	10.8%

(注) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## 重要な後発事象

### フジ製糖株式会社との合併

当社（旧日本精糖株式会社）と旧フジ製糖株式会社は、平成 13 年 6 月 28 日開催のそれぞれの定時株主総会において承認された合併契約書に基づき、平成 13 年 10 月 1 日に合併し、当社は、旧フジ製糖株式会社から、資産、負債及び権利義務の一切並び従業員全員を引き継ぎました。

合併に関する事項の概要は次のとおりであります。

#### (1) 合併の形式

当社を存続会社とし、フジ製糖株式会社は解散しました。

#### (2) 名称

当社は、合併期日において、商号を「フジ日本精糖株式会社」に変更しました。

#### (3) 新株式の発行及び割当て

当社は、合併に際し普通株式 10,500,000 株を新たに発行し、合併期日前日である平成 13 年 9 月 30 日のフジ製糖株式会社の最終の株主名簿（実質株主名簿含む）に記載された株主（実質株主を含む）に対して、その所有するフジ製糖株式会社 1 株につき、当社の普通株式 0.7 株の割合をもって割当交付しました。

#### (4) 増加する資本金及び準備金等

この合併により増加した当社の資本金、資本準備金、利益準備金及び任意積立金その他の留保利益等の額は、次のとおりです。

資本金	525,000,000 円
資本準備金	1,200,000,000 円
利益準備金	85,000,000 円
任意積立金その他の留保利益	2,258,937,884 円
その他有価証券評価差額金	13,526,582 円

#### (5) フジ製糖株式会社から引き継いだ資産及び負債

フジ製糖株式会社から引き継いだ資産及び負債の内訳は次のとおりであります。引継資産、負債の評価額は、平成 13 年 9 月 30 日現在の帳簿価額によっております。

(平成 13 年 10 月 1 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 通 資 産	2,043,873	流 動 負 債	1,721,202
現金及び預金	217,941	支 払 手 形	73,952
受 取 手 形	72,606	買 掛 金	321,265
売 掛 金	316,205	短 期 借 入 金	1,050,000
た な 卸 資 産	798,842	未 払 法 人 税	6,450
そ の 他	638,277	そ の 他	269,533
固 定 資 産	3,821,524	固 定 資 産	88,784
有 形 固 定 資 産	3,005,632	長 期 借 入 金	18,272
建 物	655,100	退 職 給 付 引 当 金	70,511
機 械 及 び 装 置	1,101,090		
そ の 他	1,249,442		
無 形 固 定 資 産	303,771		
投 資 其 他 の 資 産	512,120		
投 資 有 価 証 券	409,990		
そ の 他	109,629		
貸 倒 引 当 金	7,500		
		負 債 合 計	1,809,986
資 産 合 計	5,865,397	差 引 正 味 財 産	4,055,411

## 生産、受注及び販売の状況

### (1) 生産実績

(単位：千円)

事業の種類別セグメントの名称	当中間連結会計期間	
	〔自 平成13年4月1日〕	〔至 平成13年9月30日〕
		前年同期比(%)
精 糖	2,665,554	93.2
畜 産 物	485,849	119.5
合 計	3,151,404	96.4

- (注) 1. 金額は、販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### (2) 商品仕入実績

(単位：千円)

事業の種類別セグメントの名称	当中間連結会計期間	
	〔自 平成13年4月1日〕	〔至 平成13年9月30日〕
		前年同期比(%)
精 糖	629,034	155.6
畜 産 物	24,361	60.9
合 計	653,395	147.1

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### (3) 受注実績

受注生産は行っておりません。

### (4) 販売実績

(単位：千円)

事業の種類別セグメントの名称	当中間連結会計期間	
	〔自 平成13年4月1日〕	〔至 平成13年9月30日〕
		前年同期比(%)
精 糖	3,069,318	92.2
畜 産 物	506,292	103.3
不 動 産	96,832	100.4
ク リ ー ニ ン グ	120,350	102.2
合 計	3,792,794	94.0

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。